



広報おうみはちまん創刊号

広報おうみはちまんは、蒲生郡八幡町、岡山村、金田村、桐原村、馬淵村が合併し、近江八幡市が誕生した昭和 29 年に創刊されました。平成 22 年に近江八幡市と安土町が合併したことに伴い、号数の数え直しが行われました。

3 長命寺門前



長命寺門前では、土産屋が立ち並び、レンタサイクルも行われていました。現在も当時の面影が残ります。

—昭和100年—

写真で振り返る昭和の近江八幡

問 秘書広報課 TEL (36) 5526・FAX (32) 2695

令和 8 年は、昭和元年（1926 年）から数えて 101 年目の年になります。昭和の時代、まちは人々の暮らしとともににぎわい、発展してきました。今回は、昭和の 100 年を写真で振り返ります。

4 トキハ館



八幡公園の近くにあったトキハ館は、近江八幡で最も古い歴史を持った映画館でした。

昭和 30 年頃の近江八幡MAP



※この MAP は市立資料館（新町二丁目）で見ることができます。

1 市役所



昭和 30 年頃の市庁舎は、博労町にありました。

5 税務署



税務署は、昭和 16 年に「八幡税務署」から「近江八幡税務署」に名称が変更されました。

2 近江八幡駅



写真中央には時代を感じる公衆電話があり、この頃から多くの人に利用されていたことがわかります。

近江八幡の歩み



市制発足記念式典

昭和 56年

現在の近江八幡駅舎が完成②
びわこ国体を開催



昭和 60年

滋賀厚生年金休暇センターがオープン③



昭和 85年(平成 22年)

近江八幡市と安土町が合併

昭和 100年(令和 7年)

現在の市庁舎第一期工事が完了④



広報おうみはちまんに掲載された 10 年の歩み(昭和 39 年 4 月 15 日発行)

昭和 29年

近江八幡市と安土町が誕生

昭和 37年

近江八幡国民休暇村がオープン(全国初)

昭和 39年

東海道新幹線が開通



昭和 46年

桜宮町に市庁舎が完成①

あの場所のうつりかわり

まちなかの施設や風景を今と昔で比べてみました。あなたが覚えている風景はありますか。

市民病院

昭和 15 年に発足し、昭和 39 年、平成 18 年と移転を重ねながら、地域の医療を担う重要な役割を果たしてきました。



昭和 19 年頃(宮内町)



昭和 39 年頃(出町)



平成 18 年(土田町)

京街道門前通り

古き良き商店街の風情と温かさが、今も人々を引き付けます。



昭和 40 年頃



現在

八幡堀周辺

八幡堀は、保存修景活動により生まれ変わりました。



昭和 42 年頃



現在

武佐宿

宿場町として栄えた武佐宿は、民家の変化がうかがえます。



昭和 33 年頃



現在



老蘇小学校での杉原医院の検診
(撮影年不明)



水泳客でにぎわう宮ヶ浜水泳場
(昭和 47 年頃)



沖島漁港竣工式 (昭和 57 年)



安土中学校の円筒校舎 (昭和 33 年)



完成当初の牧浄水場 (昭和 40 年)



古川橋の渡り始め式 (昭和 38 年)

あなたのアルバムにも
昭和の風景は残っていますか？



アルバムで巡る昭和の近江八幡



篠田の花火 (昭和 36 年)



安土駅の東海道線電化祝賀行事 (昭和 31 年)



岡山診療所 (撮影年不明)



国道 8 号を走る炬火リレー
(昭和 33 年)



びわこ国体の炬火リレー (昭和 56 年)



上田町の新幹線工事現場 (昭和 37 年)